

KSKS ちいしばだより 219

環境が人を造る

かいじぎょうかんりしゃ とみた ただかず  
ちいしば会事業管理者 富田 忠一

二〇〇〇年十一月十二日 第三種郵便承認

毎月 一二三四五六七八の日 発行

ことし いっぽくりょこう 今年もちいしばの一泊旅行にでかけました。行き先は北近畿 天橋立から竹野方面の旅でした。  
わたし よる へやわ いっさくねん どうしつ 私は夜の部屋割りでは、一昨年も同室だった〇君を含む4人で過ごすことになりました。  
おーくん かれ えん りょうしゃ なか つわもの ひとり  
〇君には彼なりのルールやルーティーンがあって、ちいしば園の利用者の中でも強者の一人です。ちいしば園に通い出した最初の年の旅行では、バスの中では窓ガラスに頭を打ち付けて落ち着いて座ってはいられません。昼食をとっている途中には突然、道路へ駆け出し、「おら、かえる～」と大声で叫ぶ始末。とうてい旅を楽しむどころではありませんでした。

よくとし りょこう おーくん なん たの かんが にちじょう おーくん こうどう み  
その翌年の旅行では〇君も何とか楽しむことはできないものかと考えました。日常の〇君の行動を見ていると  
かれ しゃしん きょうみ しめ みい ようす おも だ しゃしん  
彼はよくいろんなパンフレットや写真に興味を示し、見入っている様子を思い出しました。そこで、写真やイラストを  
とくせい りょこうこうていひょう とし りょこう かれ すがた みちが  
つかった、特製の旅行行程表をつくってみたところ、その年の旅行では、彼の姿は見違えるようになりました。  
なんど なか こうていひょう と だ つぎ けんがくち きゅうけいさき かくにん なか けんがくさき えがお  
何度もカバンの中から行程表を取り出し、次の見学地や休憩先を確認しながら、バスの中や見学先でも笑顔  
す で過ごせるようになりました。

かれ ことし はる えん む ひ の で そ う にゅうきょ  
そんな彼が、今年の春からちいしば園に向かいにできたグループホーム日之出荘に入居することになりました。  
たび たの いっさくねん かれ りょこう へや つ な す へや  
旅は楽しめるようにはなったものの、一昨年の彼との旅行では、部屋に着くなりカバンを投げ捨て、部屋にあるパンフレットに集中してしまいます。風呂へ行けば服を脱ぎ棄て一直線に湯船で泳ぎだし、風呂上がりにみんなで  
じゅうちゅう ふろ い ふく ぬ す いっちょせい ゆぶね およ ふろあ  
ジュースを買いにいっても自分の財布すらもってはきません。布団に入っても一人でブツクサ声を出し続け、空  
あか はじ ころ ねい じょうたい ふとん はい ひとり こえ だ つづ そら  
が明るみ始めた頃にやっと寝入るような状態でした。

ことし へや はい じぶん にもつ お ばしょ かくにん ふろ こえ  
ところがです。…今年は、部屋へ入るなり、自分のカバンと荷物の置き場所を確認し、風呂でも声をかける  
ゆ か い みずか さいふ と だ じ す  
だけで、かかり湯もしてくれました。ジュースを買いに行くときも、自ら財布を取り出し、10時過ぎには、みんなとス  
ね よなか お だ かくご けつきよく あさ  
ヤスや寝むりはじめではありませんか。夜中に起き出すことを覚悟しましたが、結局、朝までぐっすりやすめました。  
あさ じ こえ きょうあと さくじつ ようい ふく きが じゅんびばんたん  
朝6時に声をかけてみんなと起床した後は、そそくさと、昨日、用意しておいた服に着替えて準備万端です。

しょくいん とみた こわ  
グループホームの職員のみなさんからは、「よほど、富田さんが怖いのでは…」とからかわれそうなエピソード  
わたし かれ はんとしかん く かれ せいかつしゅたいしゃ へんか  
かもしれません。しかし、私は彼の半年間のグループホームでの暮らしが彼を「生活主体者」に変化させたもの  
かくしん しょうがい う む かんけい かんきょう ひと つく  
と確信しています。障害の有無に関係なく、環境が人を造るのでしょう。

えんじけん ねん す えん もと だいきばしせつ たてか ちいき  
やまゆり園事件から1年あまりが過ぎ、やまゆり園を元の大規模施設のまま建替えるのか、地域にグループ  
じゅんび けんけんがくがく ぎろん つづ えん かぞくかい しせつうんえいしゃ かたがた もと  
ホームを準備するのか、喧々諤々の議論が続いています。やまゆり園の家族会や施設運営の方々は、元  
しけつけんせつ のぞ ひと むり き せんこう  
どおりの施設建設を望んでおられるとのことですが、「この人たちには、無理。」という決めつけが先行するので  
えん にゅうきょしゃ しん じ こ けってい ひと ゆた じんせい まつ せんたく  
はなく、やまゆり園の入居者のみなさんの真の自己決定によって、人として豊かな人生を全うできる選択ができる  
いの ることを祈っています。

この文章がちいしばだよりに掲載される頃には、衆議院の選挙結果が出ていると思います。  
安保法案の強行採決や共謀罪法の成立、そして森友学園や加計学園の問題など、数の力で押し切ろうとする安倍首相は、野党の分裂と混乱により選挙に勝利し、信任された?憲法改悪を推し進めるのでしょうか。それも最終目標である9条をも変えるのでしょうか。

一方私たち国民が選挙で自らが本当に正しい思える人や政党に投票するには、メディアを通して背景やより掘り下げた問題点の指摘等より良い判断が出来るような情報が必要です。しかし今のメディアは新聞では毎日・朝日に対して、産経・読売・日経と言うように二極化し、テレビ局も同じような報道内容になっています。特に読売新聞は安倍首相が国会答弁で「読売新聞に詳しく書いてあるからぜひ熟読してもらいたい」と言う状況です。

2016年4月人権専門家である国連特別報告者ディビッド・ケイ氏が、日本の現状について「脆弱な法的保護、新たに採択された『特定秘密保護法』、そして政府による『中立性』と『公平性』への絶え間ない圧力が、高いレベルの自己検閲を生み出しているように見えます」と述べ、日本政府に対してメディアの独立性保護と国民の知る権利促進のための対策を緊急に講じるように要請されたように、一時ＮＨＫや朝日新聞は政権の顔色をうかがい、賛成派・反対派の識者からそれぞれの意見を述べるだけ記事を載せるだけの番組や記事も見受けられました。

一般家庭では新聞を取っていない家も増え、取っていても一紙がほとんどだと思いますので、私たちが正しい判断をするには一方の情報だけでなく色々な情報を意識的に知ろうとすることが特に重要なと思っています。

私は景気が良くなり結果財政再建もすると言っている安倍首相の施策も、今の新自由主義の施策をすすめる限り、富むものはより富み富まない者はそのまで、将来の借金増や社会保障の切り捨てなど、ますます弱者は生きづらくなっています。

私は多くの国民が幸せと思えるには「平和が一番」だと思っています。そしてその平和の実現に努力してもらえる人に投票したいと、知的障害者支援の仕事に携わるようになりました。

2011年に起こった東日本大震災では、自閉症児者の家族の人たちが他の人に迷惑が掛かるから避難所に入れず車内で過ごしたことが報道されていましたが、2016年の調査報告(日本自閉症協会)では「自閉症の子どもたちの多くは避難所に入れなかったり、入れても泣き叫んだり、跳びはねるために怒鳴りつけられ、車中や被災した自宅で過ごしたり、親戚の家を転々としていた。避難所に入らないために水や食料品の配給が受けられず、障害児を抱えながら長時間店の前に並んだ人もいた。」や被害の状況があまりにも壮絶で「辛くて聞けない」と調査された方の心情も書かれています。また2016年に起こった熊本地震でも同じような事例が報告されています。

結局は平和でない社会では、弱者が一番先に被害をこうむると思っています。  
私は以前民主党が言った「コンクリートから人へ」の施策をしない限り日本の格差はますます拡大し弱者が切り捨てられるだろうと思っていますし、その思いを持った政党や国会議員が少しでも増えることを願っています。

## み 見つけた!!合理的配慮!!

ちいしば園 えん せいかつしどういん 生活指導員 ながた はつえ 長田 初恵

今年度、年間を通して初めて園芸部門で仕事をする事になりました。  
ブルーベリー畠の整備という作業があり、広い広い畠一面の雑草を抜いて綺麗にします。

夏場の作業に向けて、みんなで、一つのボードを作りました。

- ホワイトボードに碁盤の目状にラインを引き、マスごとに1、2、3…100と書きます。
- それにひっかける、直径2cmの磁石を30個に、利用者さんが好きな絵や文字シールといった物を貼り付けます。

(このボードは1回、バケツ一杯に抜いた草を捨てに行ったら1つ、各自貼る、というものです。)  
畠に出る朝、「今日の目標は?何杯にする?」と職員が問いかけると「100杯」と利用者さん。そこで100の所に目標の磁石を貼り、「じゃあ、目標達成できる様、頑張りましょう!」と声をかけると「オー!」と言って畠へ向かいます。貼る所がわからない利用者さんは、「どこに貼ったらしいのか、教えてください!」すると、他の利用者さんから「ここに貼り」とか「何番に貼ったらしいねん!」と返ってきます。(畠に笑いが起こります)「今、何杯までいった?」「あと、○杯やで」「よし、頑張るぞー」と利用者さんの声がしてきます。果てしなく続く作業ですが、今どこまで出来ているか、あとどれくらいやれば良いか、目標数までの見通しがつき、ゲーム感覚で楽しみながら作業されていました。ボードを作成している時には、私自身どんな風になるのかなあと思っていましたが、使ってみて皆さんが楽しみながら参加し、笑顔で一生懸命作業されていた姿が印象に残っています。  
勿論達成した時は、拍手して喜びました。

目標数の表 →



←この青い印が目標数です

畠の見取り図 →

ねんど  
りょこうほうこく  
**2017年度ちいしば旅行報告**

**ちいしば園 えん 笠井 かさい 草太 そうた**

ことし まいとしこうれい 今年も毎年恒例のちいしば旅行に10月5日~6日の1泊2日で行ってきました。行き先は利用者さんのとうひょう きたきんき き 投票で北近畿に決まり、京都府の伊根湾と天橋立、兵庫県の竹野海岸に行ってきました。

いねわん ゆうらんせん ちか と 伊根湾をめぐる遊覧船で、すぐ近くに飛んでいるカモメにえさをあげたり、たけのかいがん たの じゅうじつ にちかん 竹野海岸でバーベキューを楽しんだりと、とても充実した2日間でした。

しかし、休憩地点で洋式トイレの数が少なく、公共の場での不便さを感じたり、行程がたっぷりな反面、サービスエリアでの休憩時間が短くお土産を見る時間がギリギリだったり、反省すべき点も見つかりました。

その反省を次年度に活かしてちいしば旅行がより良いものになればと  
おも  
思います。



## 2017ちいしばクリスマスクッキー



マカダミアナッツがたっぷり入ったとってもリッチな

### 『マカダミアナッツ&チョコチップクッキー』 と

バンホーテンココアとクーベルチョコを使用した濃厚な 『ココアクッキー』 の

2種類が入っています。



1袋 300円

(内容量 100g)

販売期間 12月1日~25日

ご予約受付中です！！



# かいしょくいん ちいしば会職員リレー エッセー



りそう しょくいんぞう  
理想の職員像とは

ちいしば園 えん 生活指導員 せいかつしどういん 石橋 いしばし のりこ 紀子

わたし ことし がつ 私は今年5月にちいしば園に入職させて頂きました。過去に、週末を利用してボランティア活動

(障害者登山、児童養護施設の方と遊園地へ出かける etc.)への参加経験はありましたが、福祉関係の

しょく つ 職に就かせて頂くのは初めてとなります。

このちいしば園で、知的障害を持つ方へ支援や介護をする仕事に就き、もうすぐ半年。先輩職員に

アドバイスを頂き、支援の仕方を学び、実践しております。しかし、新しい支援や介護をしては、失敗

をして、先輩に注意を受け、やっと何かに気付く…という事の繰り返しの日々であります。作業活動で

は特に未熟な点も多く、ベテランの利用者さんからも、何かと教えていただくことが多い毎日です。

さて、今回のテーマである「理想の職員像とは」ですが、現状、私自身、皆さんに話せる様な”理想像”

が、残念ながら見えていない状態なのかも知れません。ただ、今後、経験を少しずつでも重ね、利用者

さんと接する時間も増えていく中で、これだけは忘れたくなないなあ！と思うことがあります。それは”人

を大切にする人でありたい”ということ。利用者さん達の”こだわり”や”ルーティン”に対しても、危険

等が伴わないのであれば、出来る限りしっかり受け止める。慣れてきても、決して上から目線ではなく、

相手の行動や思いに対し、一つ一つ大切に受け止め、向き合うことを忘れない。又職員間に置いても同様

ですが、共に喜び、共に悩み、共に成長していく、そんな職員でありたいと思います。

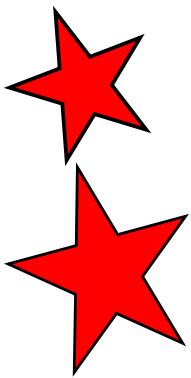
そして、知的障害を持つ方へもっと適切な支援や介護をさせて頂くためにも、障害というもの、そ

して社会福祉制度について自主的に学び、スキルアップしていくける職員でありたいと思います。

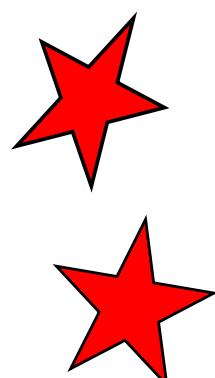
つぎ 次は、ちいしば園の野中さんにバトンを渡したいと思います。

テーマは引き続き「理想の職員像とは？」です。

よろしくお願ひします。



# しゃしんとも 写真で友だち紹介



このページでは、利用者の皆さんに、お友だちをひとり選んで写真を撮ってもらい紹介してもらいます。紹介をされた人には、次号であらたなお友だちを紹介してもらうという数珠つなぎのコーナーです。お友だちを紹介してくれた人には3つの質問をお願いします。

『1、どうしてその人を選びましたか？ 2、どういう所が気になりますか？ 3、その人の好きなことは？』

## 創作部門 原 武史 さん

なかもり みき さんを紹介します。

1.同じ創作グループだから。

2.さかなを食べるか？気になる。

3.うたが上手。



2017/10/17

## 喫茶部門 森川 佳紀 さん

まつむら としやす さんを紹介します。

1.話しやすくて、気が合う相手だから。

2.かっこいいところ。

3.プリキュアと奈良市音声館で

行われる音楽イベント。



2017/10/13

# ちいしばクリスマスコンサート 2017

「フルート、オーボエ、チェンバロが奏でるバロック音楽の調べ」

12月9日 (土)

開演 15:00 (開場 14:30)

会場 ちいしば園

## 《 演奏者 》

フルート : 北川 聖香

オーボエ : 河野 正孝

チェンバロ : 河野 まり子



## 《 プログラム 》

### D.ブクステフーデ

アリア「宮廷風」(チェンバロ)

### J.S.バッハ

オーボエソナタ短調 BWV1020

### J.S.バッハ

フルートソナタ 変ホ長調BWV1031

### J.C.F.バッハ

ソナタハ長調 (フルート、オーボエ、チェンバロ)

### B.ガルッピ

トリオソナタ ト長調

★ チケットはちいしば園、愛の園幼稚園で予約・販売しています

★ 大人:1000円 こども:(小学生以下)800円

【スウィーツセット付 (焼き菓子+飲み物)】

★ チケット予約・販売・お問い合わせ

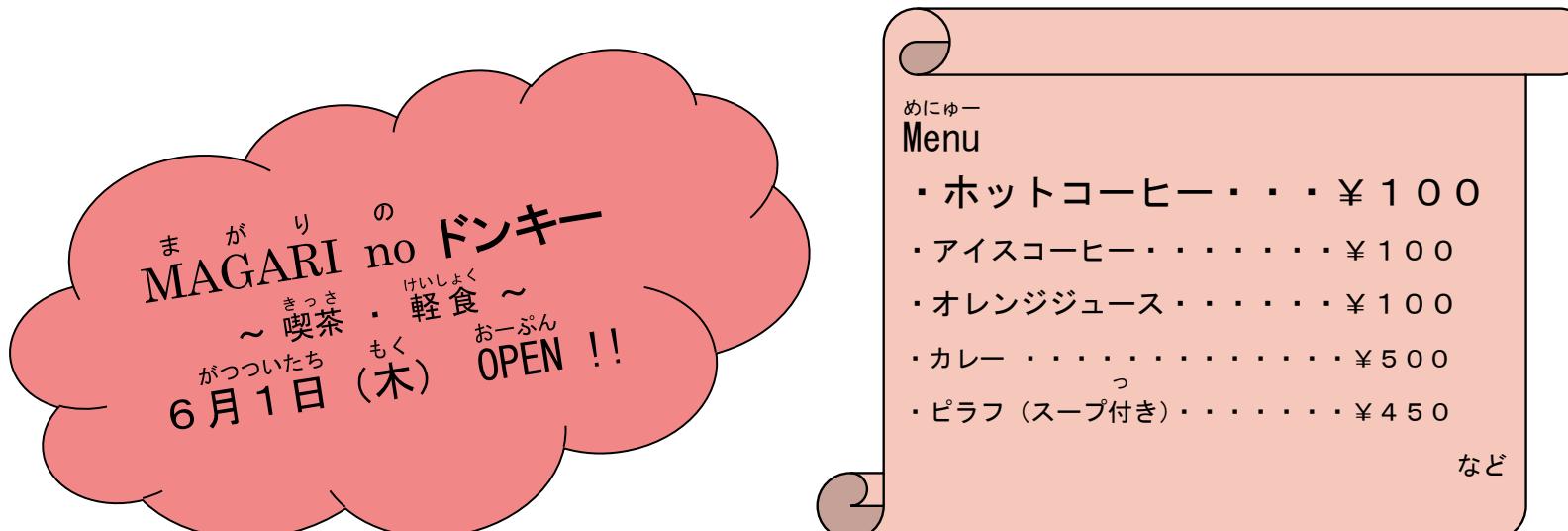
ちいしば園 住所 : 奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14

TEL : 0745-72-1923

☆後援会費・ちいしばだより年間購読料（2017年8月1日～2017年9月30日）

篠原範子(8.9)、草野陽子、堀内俊文、福田容子、本岡真、藤澤信弘・ゆき子、藤澤信也、志賀良子・真奈・穂、馬見労働保育園

以上 敬称は略させていただきます



えいぎょうじかん 営業時間 10:00～15:00(月～金)



ちいしば園はこの春から、三郷町文化センターの  
休憩室を『間借り』させて頂き、喫茶・軽食の  
お店“MAGARI no ドンキー”をオープンし  
ました。皆様のご来店、心よりお待ちしていま  
す♪



二〇〇〇年十一月十二日 第三種郵便承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

## KSKS ちいしばだより

編集人／ちいしば会後援会

年6回 頒価 50円

連絡先／奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14

TEL: 0745-72-1923 FAX: 0745-31-5760

発行人／関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F